



# ダムニュース

[法人名] 一般財団法人ダム技術センター  
[郵便番号] 〒110-0008  
[住所] 東京都台東区池之端2-9-7池之端日殖ビル2F  
[電話] 03-5815-4161  
[FAX] 03-5815-4162  
[ウェブサイト] <http://www.jdec.or.jp/>  
[電子メール] [damnews@jdec.or.jp](mailto:damnews@jdec.or.jp)

## この号の内容

- 1 “浅瀬石川ダム” + “津軽ダム”  
≒17,000枚!!
- 2 Dam news 投稿記事募集
- 3 図書販売



ダムカードを手に喜ぶ子供たち(R元.6月)



## “浅瀬石川ダム” + “津軽ダム” ≒ 17,000枚!!

～令和元年度ダムカード配布集計結果～

国土交通省 東北地方整備局 岩木川ダム統合管理事務所が管理する2つのダム『浅瀬石川ダム・津軽ダム』で、令和元年度に配布したダムカードの集計結果が出ました。浅瀬石川ダムでは、**約5,600枚**、津軽ダムでは、**約11,600枚**のダムカードを配布しました。

来訪者の居住地の集計は浅瀬石川ダムでは、青森県を除いて多い順に“宮城県”、“東京都”、“秋田県”、“埼玉県”、“岩手県”・・・と続き、47都道府県中41の都道府県からの来訪がありました。津軽ダムでは、同じく青森県を除いて多い順に“東京都”、“秋田県”、“宮城県”、“埼玉県”、“岩手県”・・・と続き、47都道府県中42の都道府県からの来訪という結果でした。また、両ダム合算して、韓国、中国、台湾、ネパールといった海外からのお客様へも56枚を配布しており、インバウンドの波が確実に押し寄せていることをうかがい知れます。

配布結果を昨年と比較すると、浅瀬石川ダムでは**約1.9倍**、津軽ダムでは**約1.2倍**の伸びを示し、確実に来訪者の増加による“地域の賑わい”に貢献しているものと推測されます。

この増加要因として、

- ・H31年4月 道の駅「津軽白神」のリニューアルオープンによる津軽ダム立地村『西目屋村』への来村者増加(10月中旬までに10万人が来場)
- ・西目屋村のカード企画【三枚のカード(津軽ダムカード・白神山地カード・水陸両用バスカード)を集めて巡る企画】が好調であったこと
- ・ゴールデンウィーク10連休による観光客の増加
- ・津軽ダムが平成以降1、2を争う“渇水”により注目を集めたことと、水位低下により出現した“目屋ダム”の定点観測写真を毎日HPへアップして情報提供したことで市民に注目されたため
- ・地域活性化企画【Wにっこり記念ダムカード】を発行し、マスコミからも記事として大きく取り上げていただいたこと
- ・小学校3、4年生の「水の勉強」の校外学習コースの中に“ダム”が定着して組み入れられたため
- ・津軽ダムが日本ダムアワード2019において“低水管理賞”を受賞したこと
- ・“天皇陛下御在位三十年記念ダムカード”の配布が好調であったこと

などが考えられます。

現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止しているダムカードの配布が再開された暁には、ダムカードをゲットし、ダムからの絶景を眺める“Wの”満足感と癒しを求めに、ダムに足を運んでみてはいかがでしょうか。

(東北地方整備局 岩木川ダム統合管理事務所)



閑散期の来訪者を大幅に増加させた【Wにっこり記念ダムカード(冬)】



## Dam news 投稿記事募集

『ダムニュース』編集事務局では、下記のようなあらゆる情報・話題を広く募集しております。

内容等につきましては特に問いませんので、下記を参照の上、積極的にご投稿くださいますようお願い申し上げます。

1. イベントの開催通知・報告（水の週間、サマーカーニバル、花火大会、コンサート等）
2. 小学生等によるダム見学会についての報告（絵・感想文等）
3. ダム所在地等における伝統的な行事の紹介（祭り等）
4. ダム事業に関するPR 活動の紹介（パンフレット、ポスター等）
5. ダム周辺の自然紹介
6. ダム周辺の観光レクリエーション活動の紹介（スポーツ大会等）
7. 研究会・講演会・シンポジウムの開催（通知・報告）
8. 水害・地震等報告
9. ダム資料館・交流館等の紹介

なお、ご不明な点及び執筆にあたっての要領等につきましては、下記担当までご連絡ください。

※ダムニュースの配信先変更や配信停止などのご希望がありましたら、ダムニュース編集事務局までご連絡をお願い致します。

[法人名] 一般財団法人 ダム技術センター『ダムニュース』 編集事務局

[郵便番号] 〒110-0008

[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

[担当者] 企画部 ダムニュース担当

[電話] 03-5815-4161

[FAX] 03-5815-4162

[電子メール] damnews@jdec.or.jp

## 図 書 販 売

1. ダム技術  
・月刊誌 A4 判 12 部/年 年度契約（定期購読申込）  
令和2年4月号（No. 403）～令和3年3月号（No. 414） 1,260円（税別・送料込）
2. 多目的ダムの建設 平成17年版（全7巻）  
・平成17年6月発行 A4 判 88,200円（税込・送料別）
3. RCD工法技術の進歩  
・平成17年12月発行 A4 判 4,500円（税込・送料別）
4. ダムの安全管理  
・平成18年5月発行 B5 判 2,000円（税込・送料別）
5. 台形CSG ダム施工・品質管理技術資料  
・平成19年9月発行 A4 判 2,000円（税込・送料別）
6. 地質現象とダム  
・平成20年6月発行 A4 判 7,000円（税込・送料別）
7. 改訂3版 コンクリートダムの細部技術  
・平成22年8月発行 A5 判 6,000円（税込・送料別）
8. ダム工事積算の解説 平成23年版  
・平成23年5月発行 A4 判 1,900円（税込・送料別）
9. 改訂版 巡航RCD工法施工技術資料  
・平成24年2月発行 A4 判 2,000円（税込・送料別）
10. 台形CSG ダム設計・施工・品質管理技術資料  
・平成24年6月発行 A4 判 3,000円（税込・送料別）
11. ダム基礎における立体的岩盤透水性分布の把握手法  
・平成25年5月発行 A4 判 5,000円（税込・送料別）
12. ダム技術Q&A—総集編—改訂版 I  
・平成27年3月発行 A4判 3,000円（税別・送料別）
13. ダムの地質調査—ボーリング・調査坑・トレンチ—  
・平成27年3月発行 A4判 6,000円（税込・送料別）
14. ダム工事積算の解説（平成28年度版）  
・平成28年5月発行 A4判 2,500円（税込・送料別）

書店では販売をしておりません。

お申込みは、ダム技術センターへ、FAXまたはE-mailをご利用下さい。

申込用紙の形式は定めておりませんが、参考形式が必要な方は、当センターホームページにて、出版物の項目よりPDF形式でダウンロードする事が可能となっております。

[法人名] 一般財団法人 ダム技術センター 図書販売

[郵便番号] 〒110-0008

[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

[担当者] 図書販売担当

[電話] 03-5815-4161

[FAX] 03-5815-4162

[電子メール] books@jdec.or.jp



# 図書注文書

## 一般財団法人ダム技術センター図書販売担当宛

FAX (03-5815-4162)

下記のとおり注文します。

No	書籍名	部数
1		
2		
3		

*公/私どちらかに○をお付け下さい。 公→宛名(会社名) 私→宛名(申込者名)となります。		公・(宛名(会社名)) 私・(宛名(申込者名))	
申込者 (ご氏名)	ふりがな		
会社名			
事務所名・ 部署名			
所在地	(〒 - )		
TEL		FAX	
E-mail			
通信欄			

- ◆ご注文の商品は、3日～10日程度でお手元に届きます。
- ◆請求書、納品書、見積書は、商品とは別途郵送にてお届けいたします。(到着日は、商品と1日程度誤差あり)
- ◆代金お支払いについて、郵便振替時の手数料は当センターが負担いたします。なお、銀行振込でお支払いされる場合には、お手数ですがお振込日・お取扱銀行・請求書番号(請求書右上)・金額を必ず書面(FAXもしくは通知状)にてご通知下さい。
- ◆銀行振込の手数料は、お客様のご負担となります。ご通知がない場合、代金が振り込まれても未払い扱いとなり、後日再請求する可能性があります。ご協力のほど、よろしく願いいたします。
- ◆特定の様式による請求書等をご希望の際は、注文書、指定請求用紙などを同封の上、郵便もしくはFAX、E-mail等にて上記の問い合わせ先にお申し込み下さい。なお、郵便によるご注文の場合、商品到着までに通常より日数がかかりますのでご了承下さい。

[法人名] 一般財団法人 ダム技術センター 図書販売

[郵便番号] 〒110-0008

[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

[担当者] 図書販売担当

[電話] 03-5815-4161

[FAX] 03-5815-4162

[電子メール] books@jdec.or.jp